

おはようございます。2番市民クラブの久保田隆二です。

通告に従いまして、一般質問をさせていただきます。

市では第2期三沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で「婚姻率」や「出生率」等をKPIに設定して、目標値達成の為、各種支援にこれまで取り組まれてきたことと思います。また、間接的にはこういった課題の解決が人口減少対策に結びつくものであると考えており、重要な課題の1つである認識しています。

男女が出会ってから結婚して、子供を授かるまでには、いくつかのステップがありますが、その最初のステップである出会いについて、私のもとに支援を求める声が多く寄せられており、今回はこの「出会い/婚活支援」の部分について質問させていただきます。

まず最初に、

### 1. 出会い/婚活支援の状況について」です。

以前は第3者が縁結びの支援を行う事も多くありまして、家族、地域、そして職場の方がお見合いの手助けをしていましたが、現在は自由恋愛が主流になっており、お付き合いをする相手/結婚をする相手を自ら自由に探します。この自由恋愛は自ら自由に相手を選ぶことできるというメリットもありますが、デメリットもあります。自由恋愛のデメリットとして、自ら積極的に出会いの機会を作り出す必要があるという事で、上手く作り出せない方がいるのも実情です。

この事はデータからも明らかになっておりまして、平成30年2月に三沢市 結婚支援ニーズ調査の結果が公表されていますが、その中で「現在結婚していない理由」という項目があり、その第1位が「出会いの機会が少ないから」となっており、多くの方が出会いの機会が必要だと認識しています。しなしながら、別の項目で「交際相手や結婚相手を探すために普段やっていること」という問いに対しては、回答者の約半数が「特にやっていることはない」と回答し、次いで「交際相手がいないことを公言する」となっており、出会いの機会を作る為に実際に積極的に行動している方は少ない事が分かります。

このままですと、単にお付き合いする方が減るだけでなく、市の婚姻率や出生率が下がる等、様々な問題に影響を与える可能性があり、強い危機感を持っております。行政支援が必要と感じますが、中々、出会い/婚活支援を実施できない状況も一定理解できます。

その理由として、出会い/婚活支援が婚姻率や出生率の増加に対して間接的に関わるものであり、費用対効果が低いと考えられることや、効果測定をしづらいという面にあります。それよりも直接的に結婚や出産に関わる施策を行う方が、費用対効果が高いと考えられます。

それでも、出会い/婚活支援を市が実施すべき理由について違う角度から意見を述べさせて頂きたいと思えます。そのカギとなる事が、当市の若者の転入数と転出数が多いということです。

国勢調査のデータ等から、当市の20代の人口と転入数・転出数をそれぞれ調べました。少し古いデータになりますが、平成27年の当市の20代の人口は3,852人です。また、平成27年の当市の20代の転入数は612人、転出数は641人です。転入数や転出数を20代の人口に占める割合でパーセンテージを算出すると、転入は約15.8%、転出は約16.6%となります。県全体の平成27年のデータですが、転入が約5.7%、転出が約8.5%となっていますので、当市は転入転出ともに県の平均をおおきく上回っています。

なぜ、今、20代の転入転出の話をして頂いたかと言いますと、当市は県内の自治体の中でも20代の人口に占める転入/転出の割合が高く、とても出入りが多い街ですので、「出会い/婚活」というコンセプトが非常にマッチしやすいのではないかと考えています。

例えば、転勤されてきた方と三沢市の方が結婚することによって、将来、市外に転勤されたとしても、三沢

市に家を建てたいとか、三沢市にふるさと納税するですとか、三沢市に旅行する/三沢市の商品を購入する等の当市に関係する方を増やしていくことができると考えています。

ですので、当市での出会い/婚活支援とは、単に「婚姻率」や「出生率」を上昇させることを目的とするだけでなく、様々な地域課題を同時に解決でき、相乗効果を見込めるものであると考えています。

これらのことを踏まえ、「出会い/婚活」を行政が支えていく仕組みも必要かと思いますが、市のこれまでの出会いの支援の活動や今後予定している活動があれば教えて頂きたいと思います。

次に

## 2. 出会い/婚活支援情報の発信について」です。

先ほど、出会いの機会が少ないことが問題となっていると説明しましたが、現在、民間サービスにより出会いの機会が提供されております。パーティーや街コン等の実際に会う場所を提供するイベント系のサービスや、会員同士をカップリングする会員制の支援サービス等があります。最近ではマッチングアプリと呼ばれるアプリでの男女のマッチングを行うものあり、多様な出会いサービスが提供されています。その他、知人や友人との食事会等での出会いの機会もありまして、出会いの機会が全くない訳ではありません。

これらの民間サービスを利用されたり、自分から積極的に交友関係を広げていける方は出会う人が増えますので、パートナーを非常に見つけやすいと考えています。反対に積極的に出会いの場を作らない方は中々パートナーを見つけることが難しいと考えています。

パートナーを1回で探すことが出来れば良いのですが、大抵の場合は長い期間活動する必要があり、多大な労力をかける必要があります。

そうした中で、少しでも、市民の方の労力を減らす為に出来ることとして考えている事が、出会い/婚活支援情報の発信です。

自分で様々な情報を収集する事が出来れば良いのですが、普段の生活の中で出会い/婚活について、上手く情報を集められない方も多くいらっしゃいます。ですので、行政側で出会い/婚活の情報をまとめて届けたり、市民の方の出会い/婚活に対しての意欲が上がる情報を発信する等、メディアを活用した出会い/婚活支援も必要だと考えています。

また、行政が情報発信をするメリットとして「安心」を与える事も可能です。どうしても「出会い/婚活」のサービス等は利用に不安を感じる方もいらっしゃいますので、行政が関与する事で、安心感をもって貰う事も可能です。

市で出会い/婚活支援情報の発信を行う事で、出会い/婚活の意欲を高めるだけでなく、各種イベント等もあわせて、紹介して、民間サービスの利用者を増やせるのではないかと考えていますが、市のこれまでの出会い/婚活支援情報の発信や今後予定している活動があれば教えて頂きたいと思います。

以上で、私の一般質問を終了致します。御答弁、よろしくお願ひいたします。